

ビジネスアイデアの概要

これまでの課題点

調剤薬局の監査業務は依然として目視確認に大きく依存しており、人手不足や医薬品の多様化により業務負担が増大している。多忙によるミスや熟練度依存した監査精度のばらつきが課題。

目的

一包化された散剤医薬品を対象として、スマートフォン画像から混合比を迅速・高精度に監査できる画像機械学習システムを開発し、調剤業務の効率化と監査精度の標準化を達成させる。

ビジネスアイデアを事業化するための課題

技術的課題

- ・調剤現場における安定した監査精度が得られるかの検証が必要
- ・医薬品の多様性やロット差、撮影環境の違いに対応したデータ収集およびモデル構築

現場実装に向けた課題

- ・調剤業務のワークフローに適合したシステム設計および直感的なUI/UXの開発が必要
- ・監査まで数秒以内で完結する処理速度や自動一包化装置との連携など導入を見据えた最適化

事業化の見通し

技術検証・開発状況

いくつかの医薬品において、混合比や個数監査を5%以内の誤差で予測できることを確認済。スマートフォン画像を用いた監査システムのプロトタイプ(MVP)についても開発済である。

市場規模・事業化に向けた展開

調剤薬局や病院調剤部門、ドラッグストアへの展開により約30億円規模の市場が見込まれる。今後は現場実証 (PoC) による精度・運用性の検証とUI改善を進め、全国展開を見据えて取り組む。

事業者情報

井手 雄紀 (FR: 北海道大学, 特任助教)

猪熊 泰英 (アドバイザー: 北海道大学, 教授)

瀧川 一学 (アドバイザー: 東京大学, 北海道大学, 教授)

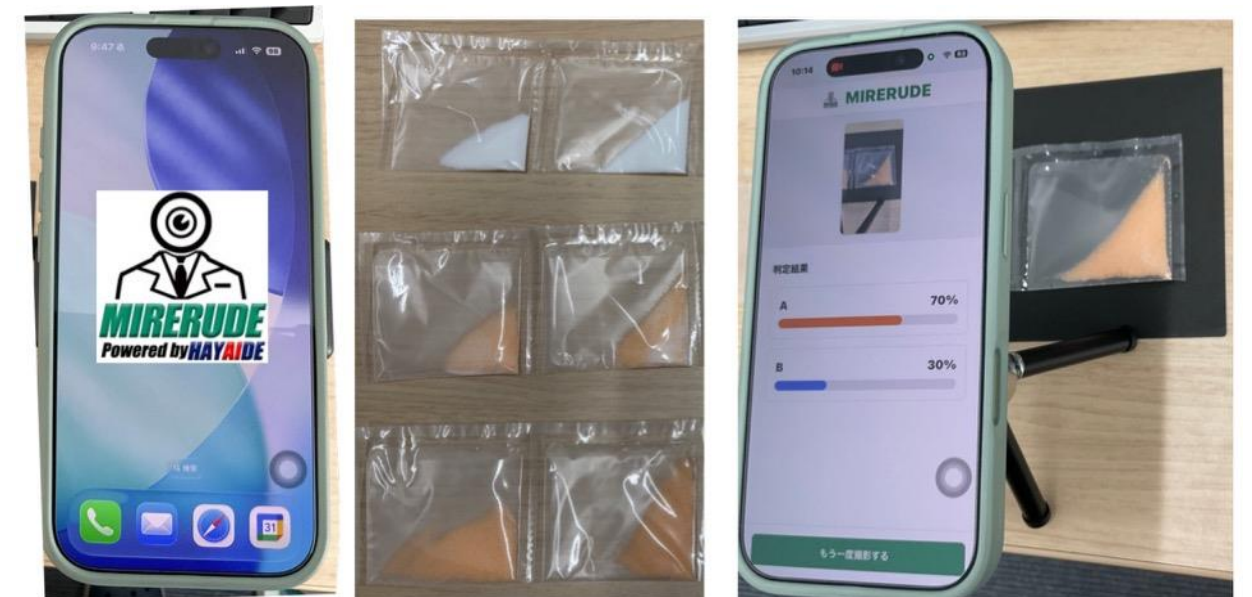
佐野 太一 (モデル構築: 北海道大学, 博士課程2年)

チーム名: HAYAIDE 



ビジネスアイデア概要図等

携帯端末による調剤監査アプリケーション



MIRERUDE
(ミレルデ)

混合された
一包化医薬品

迅速かつ高精度で
画像から混合比監査

調剤薬局での処方ミス防止・監査効率化を目指して!!